

## 法学部法律学科

### 総合型選抜のプレゼンテーション

### 準備と対策！

総合型選抜を受験しようと考えているみなさんへのヒントです。  
プレゼンテーションの準備の参考にしてください。



## 出願までの準備（全体）

- ・**読書**（特に**法**や**政治**に関する本）や**ニュースチェック**は日頃からの習慣に！  
プレゼンテーションのネタを探そう！
- ・出願準備は早めにスタートしよう（2か月くらいかけるつもりで）
- ・**「重要評価点」**をしっかりと読み込もう  
「重要評価点」には高評価を得るためのヒントが書いてあります。  
はっきり言って、読まない**と損**です！
- ・**「重要評価点」**のポイントをクリアしよう  
一般入試では問題は当日にならないと分かりませんが、総合型選抜では「重要評価点」を熟読すれば事前に何をすべきかがわかるようになっています。第一次選抜まで常に「重要評価点」を意識して、ポイントのクリアを目指してがんばりましょう。
- ・**申請書（エントリーシート）**は万全に  
面接官はみなさんに直接会う前に申請書に目を通しています。これで「第一印象」が決まると言っても過言ではありません。良い印象を与えられるように、空欄を少なく、分かりやすい文章で書くことを心がけてください。



## プレゼンテーションの下準備

### ・まずはネタ探し

自分の興味のあるできごとを探してみよう！

今年度からテーマは「**法や政治**」に関することに限定しました。

例：成人年齢の引き下げ、女性差別、ミャンマークーデター

**ダメな例**：「自然災害（＝台風、地震）」→被害状況や防災などで直接関連しない場合

「高校野球（＝スポーツ）」→スポーツ新聞的な取り上げ方のもの

「コロナウィルス」→感染状況や自粛破りなどゴシップ的なもの

### ・テーマは具体的なものにしよう

抽象的なテーマを選んでしまうと、5分間のプレゼンテーションでは内容が薄くなってしまいます。思い切ってピンポイントでテーマ設定してみましょう。

一例としては「夫婦別姓が認められるには」、「民族差別をなくすためには」

**ダメな例**：「東京オリンピックの開催の可否」「コロナウィルス対策」「震災から10年」

←いずれもテーマが広すぎます。ここからの絞り込みが必要です！

例：「東京オリンピック開催決定過程の問題点」「コロナ特措法と憲法の関係」

### ・資料収集しよう

図書館を活用しよう！図書や新聞など多くの資料が探せます。

ネットだけの情報は危険△□ネットは上手に使おう！

信頼性の低い情報、偏った意見もあります。必ず記事を比較するようにしましょう。



# プレゼンテーション原稿の作り方

## ・報告型のプレゼンテーションにならないように

総合型選抜のプレゼンテーションでは、面接官は問題に対するみなさんの考えを聞かれています。「〇〇について調べてみたら▲▲という結果でした」という報告型では評価をしてもらえません。「●●が問題だと考えました。調べたところ\*\*ということがわかりました。そこから私は★★と考えました」というように、自分の考えを述べるようにしてください。

## ・問題を設定しよう

なぜそのテーマにしようと考えたのか。問題意識を明確に示してください。重要なのは、どんな問いを立てたのかということです。

## ・集めた資料を読んで分析しよう

資料（本や新聞など）を読んで、自分なりの視点で分析して、テーマに関する多様な意見をまとめましょう。

## ・自分の意見を忘れずに

まとめた意見などをもとに自分の考えを出してみよう

結論が賛成や反対などの場合にはその理由を面接官にわかりやすく説明してください。独りよがりの結論にならないように自分とは違う意見に接することも大切です。

## ・当日の資料は自由に作成して大丈夫

電子機器は利用できませんのでご注意を！

プレゼンテーションの方法は自由ですが、時間厳守でお願いします（5分程度）。

5分のプレゼンテーションでは1000字程度が目安になります。

## プレゼンテーション対策（当日までの準備編）

- ・原稿のチェックを忘れずに

「完成したのもう終わり」・・・はい、気持ちは分かります。が、必ず推敲しましょう。テーマは明確ですか？問題提起と主張は一致していますか？問題提起と結論は対応していますか？主張の根拠は示していますか？もう一度確認してみましょう。

- ・先生や家族を相手に模擬プレゼンテーションをしよう

### i 時間の感覚をつかむ

5分は思いの外短く感じます。時間内に終わるように話す速度の確認は必要です。

### ii 内容を確認してもらう

間違いや不十分なところを指摘してもらうことも大事です。自分では気づいていないことがあるかもしれません。

### iii 慣れる

当日に緊張することが少なくなるでしょう。

\*同じことは「面接」にもあてはまります。



## プレゼンテーション対策（当日編）

- ・資料を面接官に提出

面接官用に2部用意してください。

- ・面接官に伝わるように！はっきり、ゆっくり、くっきりがポイント！

マスクをしていますので、モゴモゴ喋ってしまうと聞き取れません。はっきりと話すことを意識してください。

緊張しているとは思いますが、落ち着いて早口にならないように！ただし、制限時間は順守をお願いします（5分程度であれば、通常で読める文字は約1000字です）。

- ・質疑応答は誠実に

質問がわからないときは、そのまま答えずに、面接官に確認しましょう！

「質問の内容が理解できていないな」、「質問とかみ合わない回答だ」と思われてしまうとマイナス評価になってしまいます。



## 面接対策

- ・面接前に「重要評価点」を確認しておこう

面接は主に申請書（エントリーシート）や「重要評価点」に関して質問します。自分で書いた内容を忘れた！なんてことのないように△□

- ・面接はプレゼンテーション終了後に20分程度で実施

面接も第一次選抜の評価には大きく影響します。プレゼンテーションの準備だけでなく面接対策もしっかりと！

- ・質問には正面から答えよう

難しい質問はあまりありません。聞かれたことに率直に答えてください。分からない場合にも焦る必要はありません。聞き直してもらって構いませんし、分からない場合には分からないと答えてください。勝手に自分の都合で答えてしまうと逆効果になってしまいます。



## 最後に

・第一次選抜での評価の優劣はなんと言っても事前準備にかかっています。受験を決めたみなさんはすぐにでも準備を始めてください。

・入試説明会やオープンキャンパスがあれば、積極的に利用して多くの情報を収集してください。惜しみなく情報提供します！

・読書や新聞を読む習慣を身につけておきましょう。プレゼンテーションの準備には欠かせません。

・総合型選抜は一芸入試ではありません！「重要評価点」を熟読すると分かりますが、やる気、熱意や部活動の実績をアピールしただけでは高評価は得られません。やる気や熱意はプレゼンテーションや面接の受け答えを通して面接官に伝えてください。

みなさんにお会いできるのを楽しみにしています！